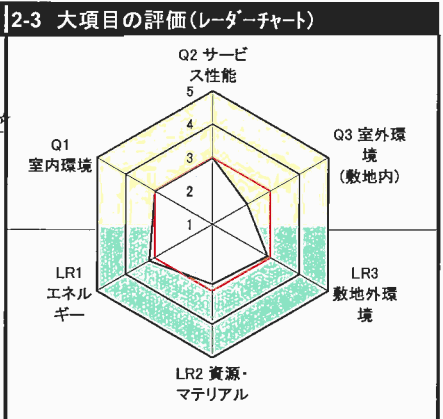
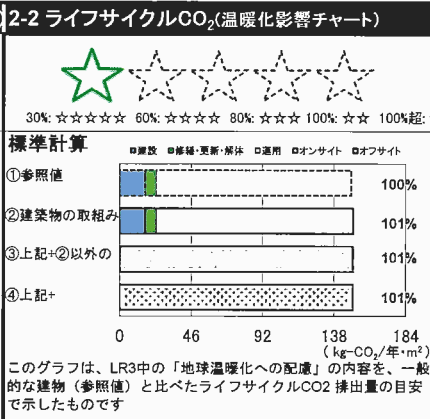
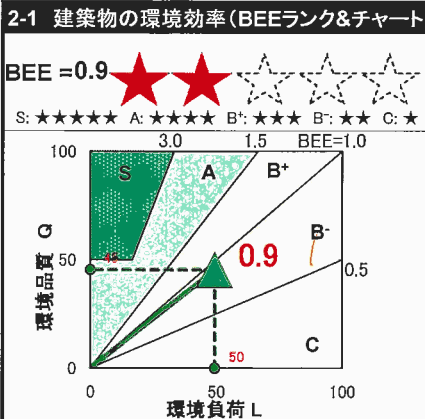
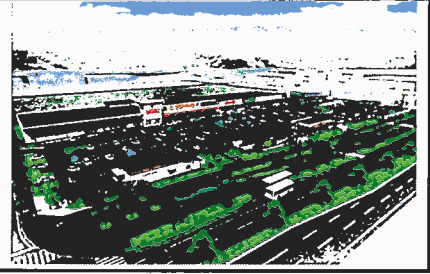


CASBEE[®]-建築(新築)

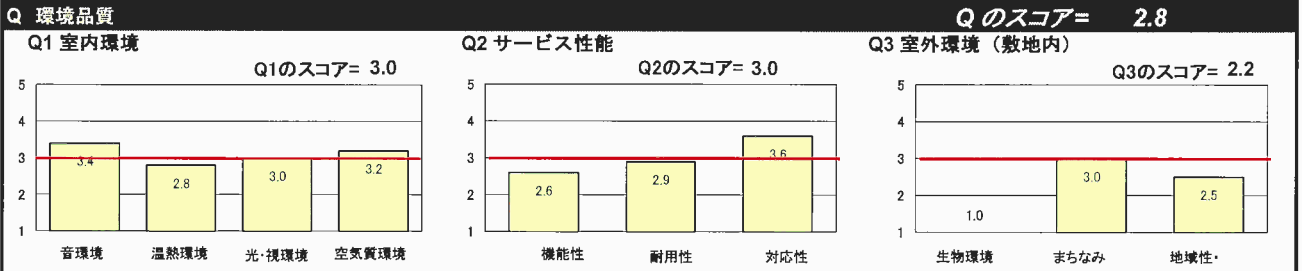
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

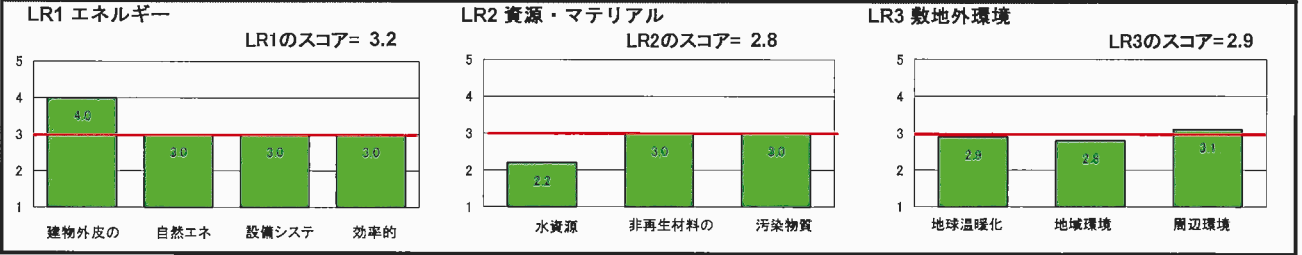
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)けいはんな学研都市用地開発	階数	地上1F
建設地	京都府相楽郡精華町光台一丁目4-	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	400 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年4月 0.0	評価の実施日	2015年4月8日
敷地面積	5,465 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	2,937 m ²	確認日	2015年4月9日
延床面積	2,842 m ²	確認者	定森淳一



2-4 中項目の評価(バーチャート)



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民に憩いの場を提供している。 ・室内環境や、敷地内環境への配慮に取り組んでいる。 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・F☆☆☆☆を採用し室内空気質環境に配慮している。 ・換気量の確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防汚性の高い建材の採用し、建物の維持管理に配慮している。 ・耐用年数の長い、給排水管の採用に努めている。 ・階高と壁長さ比率を十分に確保しており、空間のゆとりに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10%を超える外構緑化を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・建物の熱負荷抑制に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解体時において、分別が容易となる取組みを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たすなど、光害の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される